



OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目3番19号 東洋ビルディング本館3階

例会 毎週木曜日 12時30分 インターコンチネンタルホテル大阪

会長 在本 茂 幹事 中島 康之 広報委員長 荒木 幾夫

事務局電話(06)6374-0303 FAX(06)6374-0310 ホテル電話(06)6374-5700

E-mail:temma-rc@temmabashirc.xsrv.jp http://temmabashirc.xsrv.jp



<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

FEBRUARY 27 2014 NO. 2237

世界理解月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2237回)
- 2) ソング 知床旅情
- 3) 卓話 「弁護士43年、徒然なるままに」
小寺 一矢会員
- 4) 3月度定例理事会

次週(3月6日)のお知らせ

- 1) 例会 (2238回)
- 2) 国旗およびロータリー旗に礼
- 3) ソング 君が代・奉仕の理想
- 4) 卓話 「杉本文楽について」
公益財団法人 小田原文化財団
プロデューサー 足立 寛様
親睦活動委員会

☆☆☆ 先週の例会報告 ☆☆☆

☆☆ 会長報告 ☆☆

皆さんこんにちは、ゲストの皆様またビジターの皆様ようこそいらっしゃいました。どうぞごゆっくりお過ごし戴きたいと思えます。この一週間は大雪となりました。大阪でも14日の金曜日には積もりまして、高速道路が一部止まる状態になりました。また東日本では18日の日本経済新聞では死者19人に昇るといふ大雪となったようでございます。特に山梨、群馬、埼玉では史上最高の積雪となり、山梨県内の高速道路では車が止まるとその上にどんどん雪が積もり通行不能となり、近くのインターチェンジへ退避するなど大きな影響を与えました。その原因の一つが雪を甘く見てチェーンをもたないで高速道に入った車が途中動けなくなってしまう、後続車も動けなくなってしまうという悪循環になったようでございます。ドライバーは雪の日にはロータリーの四つのテストにあります、「みんなのためになるかどうか」の気持ちで雪に対する備えをして欲しいものでございます。その中で山崎製パンのドライバーの美談が

ございました。困ったときには助け舟が来ることかなと思います。

<会長報告>

1. 今週21日の金曜日、22日の土曜日には地区大会がございませう。一人でも多くの会員にAttendして戴きたいと思えます。
2. また3月2日の日曜日には大阪市の青年功績賞の授与式が信太山で行われます。こちらにもぜひ若い会員の方を中心にAttendして戴きたいと思えます。
3. 地区より2014-2015年度地区委員の委嘱状が山本喬一会員(青少年交換委員長)、溝手 悟会員(社会奉仕委員)に届いております。後程お渡し致します。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①2月21日(金)・22日(土)の地区大会にご出席頂けませう方は先日お配りしております「名札」を必ずご持参ください。なお、22日の本会議へご出席頂けませう方は国際会議場5F 受付場の中の客席へ上がるエスカレーター付近に12時30分頃にお集まりお願いいたします。な

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	1名	会員総数	66名	2月20日の出席率	80.65%
国内ゲスト	1名	会員出席	50名(62名)	4週間前(1月30日)の メイクアップを含む出席率	73.33%
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	24名	メイクアップ実施会員	2名(欠席者18名)
外国ゲスト	0名	会員欠席	12名		

お、地区大会にご出席されました会員各位におかれましてはメイクアップカードのご提出を事務局までお願いいたします。

- ②「2014～2015年度版 ロータリー手帳」申し込みの締め切りが本日はです。
- ③「春の家族会」出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ④「観梅」出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ⑤下半期の会費のご請求をさせていただいておりますのでよろしくお願いいたします。
- ⑥本日18:00からNo.3.4.5.8テーブル情報集会がリーガロイヤルホテル アネックス7F「ベラコスタ」にて開催されます。関係各位宜しくお願いいたします。
- ⑦本日例会終了後「第3回被選理事会」を当例会場にて開催いたします。関係各位宜しくお願いいたします。
- ⑧次週例会終了後「3月度定例理事会」を開催いたします。本日ご案内させて頂いておりますので関係各位宜しくお願いいたします。
- ⑨本日ホテルの駐車場をご利用の皆様はお帰りの際にインターコンチネンタルホテル1階のベルデスクにて駐車券の認証(4時間分まで)をお願いいたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

栗原地区国際委員長、ようこそお越し下さいました。思いきったご指導をしてやって下さい。
シ・ミ・コ・ミのジュウリより 重里 國麿
地区国際奉仕委員長 栗原様、本日の卓話どうぞよろしくお願い致します。 中野 格
栗原委員長様、本日の卓話ありがとうございます。 中島 康之
51回目の結婚記念日、お花有難うございました。感謝健康 重里 國麿
結婚記念日自祝 金田 五郎
結婚記念日自祝 成松 正和
台湾急遽欠席、すみません。 阪本 宗久
平成26年2月20日 合計金 48,000円
累計金 1,661,270円

☆☆ 先週(2月20日)の卓話 ☆☆

「世界理解月間に因んで」

国際ロータリー第2660地区国際奉仕委員会
委員長 栗原 大 様

2月はロータリーのカレンダーで「世界理解月間」として指定されています。この日には、1905年2月23日に行われた最初のロータリー例会の記念日があり、現在この日は「世界理解と平和の日」と呼ばれています。

RI理事会は、「世界平和のために不可欠な理解と親善」を強調する例会プログラムを計画し、特別な活動に着手することによって、世界理解月間を祝うと、すべてのロータリー・クラブに要請しています。

国際奉仕とは ロータリーの第4奉仕部門で、国際理解、親善、平和を推進するために実施する全ての活動を言います。2660地区ではこの活動を「国際奉仕活動」と「国際奉仕プロジェクト(旧 WCS)」という言葉で表しています。この人道的奉仕活動である国際奉仕プロジェクトでは今年度実施されないクラブについては国際奉仕基金として人頭金5,000円頂いております。国際奉仕活動は各奉仕部門の中でも特に労力を要します。個人的な資金・時間・労力が大きくかかる奉仕活動です。クラブ内でもこれに携わっていきけるロータリアンは一部に限られてしまいがちです。また相手国とのやり取りも簡単ではなく時間がかかり単年度や少人数のクラブではなかなか実行しにくい奉仕活動です。

しかし、その為に地区委員会は存在します。どのようなクラブも国際奉仕活動に興味を持ち続けて頂いている限り私達は協力をおしみません。また必ず実行への道しるべになる事をお約束します。またクラブ単体で難しい事は地区委員会に任せるのではなく近隣クラブ及び2660地区クラブとの協力で奉仕活動を成功させる事を考えておりま

す。ロータリーの奉仕活動の原点はクラブ主体となって活動してもらう事を最優先に考えています。

奉仕活動にはたくさんの苦勞が付き物ですが、その分感動が増え、皆さんの心に未永く残っていくことだろうと考えます。クラブ会員皆様が5大奉仕の充実な年度をお過ごしになると共に益々のご発展をお祈りしております。本日は貴重なお時間頂き誠にありがとうございました。

☆ No. 3, 4, 5, 8テーブル情報集会☆

2月20日(木) 18時より中之島リーガロイヤルホテル 7Fのイタリアンレストラン ベラ コスタにおいて行われました。

在本茂会長、小寺一矢会長エレクト、川本浩、衣斐孝雄会員をはじめ、4テーブル合同 総勢25名の参加と相なりました。

在本会長挨拶、川本会員の乾杯ご発声にはじまり、シャンパン、ワイン、ビールとグラスを重ね、料理は概ね好評で、どの世代でも美味しく頂けるような内容のものでした。

和やかな会食の中、「例会」「近況」をテーマに順次スピーチしていただきましたが、さすが先輩会員はユーモア、自虐を踏まえたウィットに富んだスピーチの中に温かみの伝わるものであり、「偏らず心から

の親睦を図れるクラブであって欲しい」という先輩のお話は特に印象深いものでありました。



☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

トマトガスパチョと海老のセビチェ、バジルのペースト
US・ハラミビーフと万願寺ペッパーとトマトライス
チョコレートムース、ベリー添え
コーヒー

知床旅情

作詞・作曲 森繁 久弥

一、知床の岬しれとこ みさきに

はまなすの 咲くころ
思い出しておくれ 俺たちのことを
飲んで騒さわいで 丘さかののぼれば
はるかクナシリに 白びやくや夜は明ける

二、旅なまきの情か

飲むほどに さまよい
浜なみに出てみれば 月は照る波の上うへ
君を今宵こそ 抱かきしめんと
岩いわかげに寄れば ピリカが笑う

三、別れの日は来た

ラウスの 村にも
君は出てゆく 峠とがをこえて
忘れちやいやだよ 気まぐれカラスさん
私を泣かすな 白しろいかもめを
白しろいかもめを

世界理解月間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



2月はロータリーの暦の上で「世界理解月間」として指定されています。この月はロータリーが誕生した大切な日を含む月であるからです。

1905年2月23日にポール・ハリスはガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーら4名と共に第1回ロータリー例会を開催したのです。つまりこの日はロータリーの創立記念日であり、「世界理解と平和の日」(World Understanding and Peace Day)と呼ばれています。そして国際ロータリー理事会は2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と定め、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しました。さらに2月は「世界理解月間」と定められたのです。

「世界理解月間」を遵守するにあたり、全てのロータリークラブは毎週の例会プログラムを世界平和のために理解を深めるような内容にすることを求められています。例えば国際的な講演者を招請したり、青少年交換学生やロータリーの学友、GSE元チームメンバーなどをクラブ例会に招待し、卓話を要請するなどのプログラムが考えられます。

「世界理解月間」は、すべてのクラブが一時手を休めてロータリーが世界の人々の間の善意、平和および理解をずっと求め続けていく奉仕の道のプランを立て促進する好機でもあります。

ロータリー財団は奉仕活動の重点分野を

- ①平和と紛争解決/予防
- ②疾病予防と治療
- ③水と衛生
- ④母子の健康
- ⑤基本的教育と識字率向上
- ⑥経済と地域社会の発展

の6分野としています。これらの6分野はとりもなおさず「平和のための活動」そのものであります。平和を阻害するものとは、紛争の根底に横たわる原因に等しく、多くの場合、食糧、水、住居、医療、識字、雇用、人権などの基本的条件の欠如であります。この基本的条件を維持・改善するためにロータリーは活動し続けているのです。人道的国際奉仕はもとより、ポリオ撲滅活動も然りであり、米山記念奨学制度もまた然りです。

「世界理解月間」には、「ロータリーの平和のための活動」について私たちは今一度良く考え、今後の活動に活かして行きたいものであります。

ガバナー月信2月号から転載